

Search: ((JP2003106474) OR (JP2003106474 S U) OR (JP9194797) OR (JP9194797 S Y) OR (JP11189753))/PN/XPN



3 / 3

Patent Number: JP11189753 A 19990713

### (A) FLAME-RETARDANT ADHESIVE TAPE

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a flame-retardant adhesive tape not generating a poisonous halogen gas on combustion and not containing antimony affecting human bodies.

**SOLUTION:** This flame-retardant adhesive tape is obtained by disposing the first adhesive layer containing ammonium polyphosphate on at least one surface of a substrate. Therein, the maximum particle diameter of the ammonium polyphosphate is  $<+300\%$  of the thickness of the adhesive layer, and the specific surface area of the ammonium polyphosphate is  $\geq 7500 \text{ cm}^2/\text{g}$ . At least one of the second adhesive agent layer not containing the ammonium polyphosphate is disposed on the adhesive agent layer.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

**Inventor(s):** (A) HANAI TAKAOMI  
KAKIMOTO WATARU

**Assignee(s):** (A) NITTO DENKO CORP

#### Patent number/Stages

JP11189753	A	19990713 [JP11189753]
<b>Stage:</b>		(A) Doc. laid open to publ. inspec.
<b>Assignee(s):</b>		(A) NITTO DENKO CORP

FamPat family	Publication Number	Kind	Publication date
	JP11189753	A	19990713
	<b>STG:</b>		Doc. laid open to publ. inspec.
	<b>AP :</b>		1997JP-0359691 19971226

#### Links



**Priority Details:** JP35969197 19971226

©Questel

(19) 日本国特許庁 (J 2)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-189753

(13) 公刊日 平成11年(1999)7月13日

 $(S_L)_{\ln L(C)^2}$ 

福利設計

12

C09I 7:02

CONFIDENTIAL

4

11010 17:58

TIO 1 B 17:68

3

完全開求 不完全求 開求項の数 /  $\Omega$  L (全 5 頁)

(2) 出回票号 特准平9-379691

000003964

日東電工株式会社

大阪府茨木市下鶴田1丁目1番2号

(2) 發明者 花井 茂

大田府茨六市下徳田1-111-3号 山東

■ 二 様 式 会 社 内

(2) 查明者 楠木 榎

人医府炭六巾下建穢1丁日1番2号 山東

庫上様式会社内

(54) 『菊田の名所』 龍樹性法著 示・フ

三、【斐然】

【注意】 本剤は、難燃性樹脂の分解に伴い、燃焼時に有害であるハロゲン系ガスを発生する。また人体に有害であるベンゾピレンを含有しない難燃性樹脂と比べ、むしろこれを含有している樹脂等には注意。

【判決手続】本件争点のうち争点1は、ボリリン製アンモニアを含有したの清膏剤が製造方法上になる製造性水管が「質であって、経済的」に製法上では元の製造業者が生産する清膏剤中のアンモニアの30%以下で、かつ比表面積が特定の範囲にあり、さらにその性状が原原料に劣るとともに上層のボリリン製アンモニアを含まない清膏剤の製造に認められている。

## 14 2010.12

[illegible]

【計算例2】 40(リリ) 酢アンモニアの濃度6%が、  
100g/ml以下であることを示し、残る計算項目記載の  
記載を参照せよ。

[illegible]

【計算例】 陸揚村が21歳であることが時議会の請求位上、21歳が21日の有効数字とすると、

【重要単語】 ハンドル系解凍剤を普及する。かつ、ハロ

[illegible][illegible][illegible]

1997年12月

【適用の属する技術分野】本適用は、燃焼性プラスチックに開く、燃焼時に有害である、ロケンを発生を防止し、また大気汚染防止の効果を有する、含有炭素の燃焼性プラスチック、を主として用いることを目的とした電子部品製造方法である。

100021

「質」の把握に際しては、まず作品、またはそれの複製品を十分に用いて、その用途上の性質として、どのような場合に用いられることと想定できるように、その中でも特殊な場合の用途特性を要求される場合が多い。例えば、①印刷技術的に日本でも数種類の特殊タイプの②印刷紙として、③15ミリが主流、6ミリの幅に合わせる高圧用途時が要求されている。また、④研究用材料に採用して

1000000

は、従来より、ハロゲン系のガス状に顔にアンチモンを塗布することにより炎症を予防することが一般的であったが、ハロゲン系のガス状に顔に人体に有害なハロゲン系ガスを発生することや、機器に火災を引き起こす原因となることがあり、ハロゲン系ガスを発生しないタイプのガス発生式のものが好まれるようになってい

$$10 \leq n \leq 1$$
[illegible]

[1200-3]

「研究を済ませたものの、」と用い、その後の課題を  
 何となく述べた女性もいたものがあり、竹野の例では、  
 衣子と兄の心理分析、そして衣子と竹野の、中絶に際  
 した、心理的、感情的な使用もなく、分析結果と結  
 果が一致しない、もののロゲンカスやホフマンが、一見一  
 致し、しかし分析が揃わないことを示すように、こ  
 れは、その前後の文脈に適切な分析を要すること  
 になり、結果としての低く多くの類似の着目特性を算出結果と見  
 ず、その結果とあることを見出し、一見明に並ったもの  
 である。

13003

[illegible]

【2007】

[illegible]





項目	実測値 1	実測値 2	実測値 3	比較値 1
沈降力 $\alpha/20\text{mm}$	8.5.9	5.8.0	7.5.0	5.6.9
凝結試験	合格	合格	合格	合格
鉛垂流動電圧 $\text{kV}$	7.8	7.6	7.7	8.0
腐食性試験	○	○	○	○
ハロゲンガス試験	無し	無し	無し	無し
鉛汚染試験	2.1	2.5	2.5	2.7
ハロゲンイオン試験	2	5	10	2
PH	7.0			
ブロー/30分試験 $\text{g}$	1.5.0	1.0.0	2.0.0	7.0